

西特別支援学校 CS 通信

～地域で育つ、地域で育てる、地域が育つ～

No.1 令和7年6月12日

第1回学校運営協議会開催

5月14日に今年度第1回の学校運営協議会が開催されました。
今年度は学校運営協議会での協議内容を広く知っていただいたり、教育課程の中に具体的に反映させながら地域と学校パートナーシップ事業を推進したりできるように学校運営協議会委員以外の校内の職員（地域連携推進委員会のメンバー）も参加しての協議会となりました。

1. 議事

令和7年度 学校教育ビジョン、学校運営の基本方針

- ・「自分の中で伸びる みんなの中で伸びる 地域の中で伸びる」を学校教育目標としています。
- ・学校教育ビジョンの表に基づき説明。・新型コロナウイルス以前にあったような地域との交流をまた復活させていき、子ども達を地域総がかりで育てていきたい。

令和7年度 学校評価 ・教育目標を達成するために3つの重点項目に取り組む。

- 重点項目1…当校9年間の学びのうち、各ライフステージの学びの連続や系統性を意識した指導内容の整理と全職員の研修や研究の場を増やしていく予定。
- 重点項目2…学校、関連機関、保護者が連携し生徒一人一人を同じ方向性で育てるトライアングルプロジェクトの推進及び必要に応じた家庭支援を大切にしたい。
- 重点項目3…子ども達を地域総がかりで育てるためのコミュニティースクール（学校運営協議会）とパートナーシップ事業の一体的推進を近隣に挨拶等具体的に行動。

令和7年度 年間行事計画、教育計画。

- ・今年度の年間行事計画と教育計画について説明。（運動会・オープンスクール・修学旅行・合同避難訓練・作品展等）

令和7年度 学校予算計画

- ・今年度の学校配当予算額、近年の学校配当額と児童生徒数の推移、学校徴収金について、就学奨励費について説明。

令和7年度 地域と学校パートナーシップ事業

- ・今年度の年間計画について及びボランティアさんの活動内容について説明。

<報告> 昨年、当校がまき多加良まつりに出店したことで生徒たちの作業製品が「角田山一周ハーフマラソン大会」の記念品にと依頼があり、受け取られた方からお礼の手紙が届いた旨、教頭より報告がありました。

2. 意見交換

委員	巻地域の祭りに参加をしてはどうか。地域の行事に参加することで地域とのつながりができる。
委員	子どもたちには様々な経験をしてほしい。経験によりできることもあるので、どんどんチャレンジしてほしい。大人は自分が得意なことを子どもに教えていけるとよい。
委員	西川図書館では読書バリアフリーを推進している。「りんごのたな」というコーナーを設置し、全ての子どもが読書に親しむことができるようにしている。1学期に西特別支援学校小学部の児童が校外学習で来館するが、同日に内野中学校生徒の職業体験も予定されている。お互いにとってよい経験になると考えている。
委員	新卒の若い職員もいると思うが、校内での研修はもちろん、日々の授業の中で先輩の先生方から学んでいってほしい。
委員	子どもたちは様々な地域から通学してきているが、「巻の学校」であることを地域の人に意識してもらえるようにしていく必要がある。

3. 校長挨拶 今までこの会議の内容が職員に伝えきれていなかったのではという反省から今年度より時間を午後に変え、職員に内容を共有できたことは有り難く、今後もより地域と関わっていきたい。

＜参考資料＞ ～西特別支援学校 職員室便り③より抜粋～

コミュニティスクール（CS）について

コミュニティスクール（以下 CS）とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、保護者・地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校のことです。新潟市は令和2年度から先行実施が行われ、令和4年度に全小・中・特別支援学校が CS に認定されました。西特別支援学校も令和4年度から CS となりました。

【参考資料】東洋館出版「特別支援教育 No.96 令和6年冬」

特別支援学校における CS について

特別支援学校においては、多様な配慮を必要とする子どもたちが在籍していることから、所在する地域の理解、就業先となる企業等との連携・協働やつながりづくり、地域での活動の場をつくるなどの観点も重要になります。西特別支援学校の学校運営協議会は、巻3区自治会長、学校支援ボランティア、西川図書館館長、新潟大学准教授、社会福祉法人理事長、PTA 会長、卒業生保護者など多様な立場の方が関わることで、学校教育目標を共有しながら学校や子どもたちの課題解決や教育活動の充実に向けて議論を進めています。